

市社協

ふじさわ

特集

紡いできた**歴史**そして**これから**

～民生委員児童委員一斉改選に向けて～ 2・3

◆企業の地域貢献活動紹介 4
アズビル株式会社

◆令和6年度 事業報告・決算報告 6・7

◆イベント・募集情報 5

◆老人福祉センターのイベント、
共同募金運動、寄付・賛助会員 8



藤沢市民生委員児童委員協議会
左から 三浦副会長、三鶯会長、石井副会長
～民生委員制度創設100周年（※平成29年）の記念碑、記念樹（ユズリハ）の前で～

〒251-0054 藤沢市朝日町1-1 藤沢市役所分庁舎1階
電話 0466(50)3525 FAX 0466(26)6978

E-mail: syakyo1@cityfujisawa.ne.jp
<http://www.fujisawa-shakyo.jp/>

紡いできた歴史そしてこれから

～民生委員児童委員一斉改選に向けて～

12月の一斉改選を目前に控え、今、伝えたいこと。
地域の身近な相談役である民生委員さんは、いわば「地域のかなめ」。
そんな民生委員さんを、市社協ふじさわが密着しました。

民生委員とは

地域で暮らす方々の立場に立って相談に応じ、必要な援助を考え、社会福祉の増進に努めています。民生委員は、児童委員も兼ねています。

児童委員とは

地域で安心して暮らせるよう子どもたちを見守り、子育ての不安などの相談に乗っています。

インタビュー

明治地区
山崎民生委員

子ども会をきっかけに民生委員活動をはじめた山崎さん。活動をはじめて24年間、さまざまな人と出会いながら、多方面で活躍されています。

インタビュー

1

活動は…

とても楽しいです。
お変わりないかと、おひとり暮らしの家を訪問することも多くあるのですが、いつも話が盛り上がってしまってます。(笑)
私自身人と話するのが好きですから、気が付いたら話に夢中になっちゃってます。



インタビュー

2

続けていてよかったこと

民生委員の活動をきっかけに、町内会館で地域の仲間たちと20年近く「おしゃべり会」を続けています。普段はおひとり暮らしで寡黙な方も、会の中では大声で笑ってくれています。「あの人がこんなに笑うなんて」と、周りの方もびっくり。「嬉しい」「楽しい」といった声も聞こえてきて、私自身も「やっていたよかった」と感じました。



インタビュー

3

心がけていること

とにかくいろんなアンテナを張りました。私ひとりでは、地域のことを隅々まで把握することは難しいです。地域のお友達と「なにか気になることがあったら教えて」と声をかけあったことでいろんな情報を素早くキャッチすることができましたし、今でもつながり続けている、信頼しあえる仲間にもたくさん巡り会えました。



対談

藤沢市民児協(※1) 三觜会長 × 藤沢市社協 小野会長

変わりゆく形、手を取りあいながら

(※1)藤沢市民生委員児童委員協議会

平成29年の民生委員制度創設100周年を越えて、令和7年の昨今の地域では、コロナを経てさまざまな問題がより深刻化、かつ複雑化してきています。そういった意味では、民生委員活動の難しさに対して不安を感じる方も多いかもしれません。

その一方で、市社協のコミュニティソーシャルワーカーをはじめ、福祉に関する制度や体制が充実してきたことで、民生委員さんの役割である「見守り」や「他機関へのつなぎ」といった活動に徹することができるようになってきている部分もあるのではないのでしょうか。

はい。そういった関係機関との連携、サポートをととても心強く感じています。

改めて、地域で生活している皆さんが民生委員としていてくださる。そのことで、専門機関が機能できるのだと思います。

各機関とそういった連携を取りあいながら、地域活動をはじめ、民生委員児童委員の未来が広がっていったらうれしく思います。

三觜会長

小野会長

インタビュー

4

これから

大切なのは、民生委員と被支援者といった関係ではなく、人と人として寄り添いあえる関係であるかだと思います。地域の活動、地域のつながりを絶やさないために、民生委員も次の世代につながっていただければ嬉しく思います。



企業の地域貢献活動



アズビル株式会社について

アズビル株式会社は、1906年創業、2025年で創業119年となる制御機器メーカーです。「人を中心としたオートメーション」の理念のもと、計測と制御の技術で人々の安心、快適、達成感の実現や地球環境への貢献を目指しています。

研究・開発拠点である藤沢テクノセンターは、藤沢工場として1961年に設立され2022年に新棟が竣工されました。

azbilグループの社会貢献活動

azbilグループは「人を中心としたオートメーション」のグループ理念のもと、SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向け、社会の一員としての責任を果たすとともに、社会貢献活動を推進しています。



アズビル株式会社
HP

◎地域活性への貢献

azbilグループは、グループのSDGs目標におけるターゲットの1つを「地域に根差した社会貢献活動を全ての事業所において実施し、社員一人ひとりが参加」と定め、取組みを推進しています。継続的・計画的な活動を実践していくために、2021年度に社会貢献の専任部署を設け、「目指すもの」「重点テーマ」を策定しました。2022年度より、世の中の状況にあわせ、国内外の事業拠点や、協賛イベントなどへの社員参加をさらに推進しています。今後も社員一人ひとりの社会課題解決に向けた取組みを国内外で強化することで、持続可能な社会へ「直列」に繋がる貢献を目指していきます。

目指すもの

社員一人ひとりが社会課題解決に向け考え行動し、成長し続ける「企業風土の醸成」と、社員一人ひとりが様々なステークホルダーと連携して活動に参加することにより、azbilグループとしての連帯感と達成感の実現を目指します。

重点テーマ

- ・地球環境に係わる分野
- ・(次世代育成を中心とした)人に係わる分野

◎小学校への教育支援

azbilグループは、地域社会貢献活動の一環として教育支援を実施しています。

2022年度より、研究・開発拠点である藤沢テクノセンター新棟竣工にともない、省エネ見学会(画像提供:株式会社タウンニュース社)近郊にある藤沢市立高谷小学校の3年生を対象に省エネ見学会を行っています。毎年、約150人を対象に社員が講師となり、azbilグループがSDGsの実現へつながる活動に取り組んでいることも説明しています。学習の成果として、児童から感想文をいただくなど、現在も交流を続けています。



省エネ見学会
(画像提供:株式会社タウンニュース社)

◎湘南ユナイテッドBCと連携した社会貢献企画への参加

湘南地区では初のB3リーグへの参加となる湘南ユナイテッドBCへ2022年より協賛しています。2024年11月には、藤沢市内の施設の子どもたちなどを招待し、車いすバスケの体験会や試合観戦を行い、社員ボランティアが支援しました。

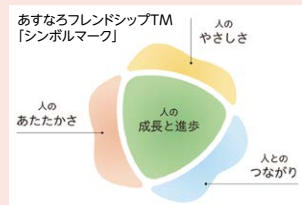


車いすバスケット体験会

一般財団法人アズビル山武財団について

「株式会社山武」から「アズビル株式会社」への社名変更を機に「山武」の名前を残す3つの取組みの1つとして、アズビルの創業110周年を記念して2016年2月に設立されました。アズビル山武財団は支援活動を通し、azbilグループの理念である「人を中心としたオートメーション」で、人々の「安心、快適、達成感」の実現に貢献していきたいと思えます。子どもたちが大きな夢を描けるように、次の事業をおこなっています。

- ・奨学金の支給事業
 - ・教育や啓発支援事業
 - ・研究活動への助成事業
- 藤沢市においては、藤沢市、藤沢市社会福祉協議会と3者合同で「あすなるフレンドシップ就学支援金」支給事業※1をおこなっています。その他、児童養護施設への支援、子どもたちの居場所を提供する学生ボランティアへの支援等もおこなっています。



※1児童扶養手当全額受給のひとり親世帯で扶養する小学6年生、中学3年生の進学及び就職を支援するための一時金支給事業

2017年からスタートし、今年で9年目。2017年～2024年の実績 申請数1,452件 支給額5,888万円

イベント

募集情報



ふくちゃん

参加・申し込み
お待ちしております!



市社協HP

湘南ふじさわ子育て応援メッセ

参加
無料

藤沢市民を対象として活動している子育てサークル・子育て支援団体等による情報提供が盛りだくさん♪

- 日時** 10月4日(土) 10時~13時
- 場所** 藤沢市役所分庁舎1階・2階
- 主催** 「湘南ふじさわ子育て応援メッセ」実行委員会
- 問合せ** 藤沢市社会福祉協議会
「湘南ふじさわ子育て応援メッセ」事務局
電話:0466-26-9863



備えてあんしん! おひとりさま終活準備講座

参加
無料

自分一人になったときや家族にはなるべく頼らずに生活を続けたいとき、必要なお金や契約事・手続はどうしたらいいのでしょうか?

今後の生活に備えて、様々な制度や契約について学んでみませんか!

- 日時** 10月13日(月・祝) 13時~15時
- 場所** 藤沢市役所分庁舎2階 活動室1・2
- 定員** 【会場参加】先着60名
【オンライン参加】先着400名
- 講師** いちのは行政書士事務所
佐藤悦子行政書士
- 申込み** 【会場参加】9月22日(月)
9時から電話・FAX(氏名・住所・電話番号記載)にて
【オンライン参加】
右記二次元コードにて
- 問合せ** ふじさわあんしんセンター
電話:0466-55-3055
FAX:0466-55-3066



藤沢ふれあいフェスタ2025

参加
無料

- 日時** 12月6日(土) 11時~15時
- 場所** 藤沢市役所分庁舎1階・2階、本庁舎1階
- 主催** 藤沢市、藤沢市ふれあい実行委員会、(社福)藤沢市社会福祉協議会
- 対象** どなたでも参加できます
- 問合せ** 藤沢市障がい者支援課
電話:0466-50-3528 FAX:0466-25-7822
藤沢市社会福祉協議会(ふじさわボランティアセンター)
電話:0466-26-9863 FAX:0466-50-3671



藤沢市精神保健 ボランティア講座

- 日時** 11月開講予定
- 場所** 藤沢市役所分庁舎2階 活動室ほか
- 主催** 「藤沢市精神保健ボランティア講座」実行委員会
- 対象** 精神保健に関心のある市内在住・在学・在勤の方で、原則として全日程出席可能な方、ボランティア活動に興味のある方、実際に関わりあいを持ちたいと思っている方
- 受講料** 1,000円(予定)
- 問合せ** 藤沢市精神保健ボランティア講座
実行委員 事務局
電話:0466-26-9863



もっと知ってほしい里親制度

参加
無料

- 日時** 11月22日(土) 10時~12時
- 場所** 藤沢市役所本庁舎8階 会議室8-1
- 主催** 神奈川県中央児童相談所、藤沢市
- 対象** 里親活動に関心のある県民
- 定員** 50名(定員になり次第締め切り)
- 申込期間** 10月1日(水)~11月18日(火)まで
- 問合せ** 神奈川県中央児童相談所 子ども支援第一課
電話:0466-84-1600

成年後見制度 出張無料相談会

参加
無料

- 日時** 11月22日(土)
13時30分~、14時30分~、15時30分~(各45分)
- 場所** 西南部障がい者地域相談支援センター つむぎ
(辻堂市民センター1階)
- 対象** 藤沢市民とその家族、相談支援機関の方 6組
- 相談員** 司法書士・行政書士
- 申込み** 11月10日(月) 9時から受付開始 電話にて先着順
- 問合せ** ふじさわあんしんセンター 電話:0466-55-3055

令和6年度 事業報告

「第4次地域福祉活動計画」の具体化に向けて、地域で暮らす住民の皆さん、さまざまな団体や行政などの皆さんと地域生活課題の解決に向けて取り組みを進めました。



詳細はこちら

1 第4次地域福祉活動計画の推進

活動計画の推進を検討する「藤沢市支えあう地域づくり推進連絡会」の事務局として、会の運営と取り組みを支援。

- 市地域福祉計画2026における中間見直しへの対応
- 地域活動インセンティブ制度に関し、先進市（東京都三鷹市・みたぽ）の視察。
- 地域福祉活動を推進するための活動助成（通称：たーすけ あいちゃん助成）により、14の活動団体に対して活動及び助成の支援。

2 地域福祉活動の推進に向けた支援体制の充実

1 地域福祉の普及・啓発と人材づくり

- 「市社協ふじさわ」は、「孤独・孤立対策推進法」の施行等をテーマに特集を組み、情報を発信。
- 市内社会福祉法人との協働による介護職員初任者研修を開催。
- 今年度から新たに同行介護従業者養成研修を開催。



市社協ふじさわ第64号



養成研修の様子

2 生活支援の仕組みづくり

高齢者をはじめ誰もが、地域とのつながりや生きがいを持って暮らし続けられるように、13地区の特色を踏まえた地域のニーズや課題を、多様な主体と連携を図りながら、地域における担い手の創出や生活支援サービス等の充実・拡大・開発、利用の充実に努める支援の実施。

3 包括的な相談支援体制の構築

1 重層的支援体制整備事業への取り組み

13地区各市民センター・公民館を中心に、地区内の相談機関ネットワークの構築強化を図り、複合・複雑化した課題を抱えている方（世帯）について、連携・協働し対応。

2 特例貸付借受人へのフォローアップ支援

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例貸付において、職員体制を強化し、生活状況を把握し生活再建に向けてCSWと連携しながら一体的な相談支援に取り組んだ。

4 ひきこもりや生活困窮者等の地域で孤立しがちな方への支援

1 ひきこもり等社会参加事業の推進

当事者やその家族の意向に寄り添い地域社会とのつながりを持つことができる利用しやすい場づくり、地域づくりを進めた。



ミニ勉強会の様子

- 社会参加活動室の運営及びミニ勉強会の開催
- 「こころま」の本格実施
- 家族の会等との連携

2 社会的孤立等生活支援事業の推進

地域との関わりの希薄化や社会的孤立、複合的な課題を抱える家族の増加等の地域生活課題が多様化・複雑化する中、子どもの貧困、ヤングケアラーなど子どもを取り巻く諸課題に対して、制度を利用できない家庭に対する生活支援を実施。

5 地域福祉活動センターの運営

地域福祉活動センターでは、障がい、疾病、介護、子育て、生活困窮、社会的孤立など、生活上の課題を抱える当事者やその家族及び、地域における福祉課題の解決に取り組む団体を対象に、支援体制の強化と活動環境の整備について取り組んだ。



分庁舎2階多目的スペース

登録団体数

区分	令和6年度
当事者会／家族会／自助グループ	34団体
福祉関係ボランティア団体	17団体
地域福祉関係団体	8団体
福祉関係機関の協議体	23団体
合計	82団体

6 地域福祉物流・交流拠点の運営（新規）

フードバンクやパントリー、子ども食堂等の活動団体を支援するため、寄付受け入れや保管、配分をおこなう拠点として卸売市場の店舗を借り上げ、市の助成やフードバンクふじさわから大型冷凍庫の提供等の協力を得て、7月からフードバンクふじさわの活動拠点及びふじさわ子ども食堂地域食堂ネットワークの食品等配分拠点として運営を開始した。



卸売市場の写真

3 関係機関や民間企業等との連携

1 社会福祉法人による地域の公益的な取り組みの推進

地域の公益的な取り組みの推進を目的に、市内42の社会福祉法人が分野を超えて連携・協働していくための協議体（藤沢市地域公益事業推進法人協議会）の参加法人兼事務局として会の活動支援に取り組んだ。緊急支援事業の施行や赤い羽根共同募金（街頭募金）へ参加し周知に努めた。

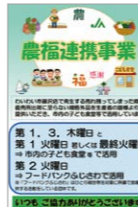


藤沢駅での街頭募金

2 民間機関や民間企業等との連携

1 JAさがみとの農福連携事業

JAさがみわいわい市藤沢店の協力のもと、地域の農家の方々から提供された野菜などの食材を、市内の子ども食堂地域食堂やフードバンクふじさわ等が活用できるよう継続的に支援を実施した。



2 アズビル山武財団「あすなるフレンドシップ就学支援制度」との連携

経済的支援が必要なひとり親世帯の子どもの就学支援等を目的に支援金を支給するアズビル山武財団「あすなるフレンドシップ就学支援制度」の実施にあたり、受付事務を担い、必要に応じて相談支援を実施した。

3 無印良品Fuji善行との連携

生活福祉資金（教育支援資金）の貸付手続きをおこなう中学生、高校生に対し、無印良品Fuji善行の協力を得て、記念品と企業・市社協からのお祝いメッセージを渡し、門出を祝うとともに、市社協が、気軽に相談できる機関であることの周知をおこなった。

6 地区社会福祉協議会等との連携

地域福祉を推進する地区社会福祉協議会の活動を支援することを目的に、地区社会福祉協議会連絡協議会の事務局として、14地区社会福祉協議会の情報共有や意見交換を主とした定例会議と、「敬老会」「孤独・孤立」「子ども関連事業」など興味関心の高いテーマについての勉強会・交流会の開催を支援した。



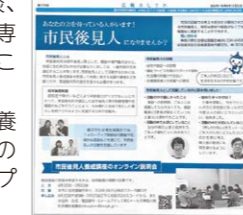
交流会の様子

他にも民生委員児童委員活動や保護司会などとも連携し、地域福祉活動の支援をおこなった。

4 権利擁護の推進

1 成年後見制度等の相談機会及び利用支援機能の充実

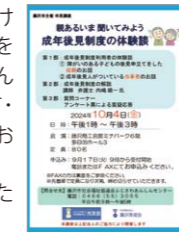
権利擁護相談機関として、職員による一般相談のほか、各専門職団体と連携した定例専門相談、及び親族後見人を主な対象とした専門相談、老人福祉センター等でおこなう出張専門相談等を実施。



その他、第7期となる市民後見人養成講座や市民後見人候補者バンクの登録者を対象としたフォローアップ研修も開催。

2 権利擁護支援に係る中核機関の運営

権利擁護に関する支援体制の充実に向けて「藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会」を年3回開催し、中核機関としてのあんしんセンターの取り組み等について情報共有・意見交換をおこなうことにより、本市における関係機関の連携強化に努めた。



また、成年後見制度の普及啓発を図るための市民講座を年2回開催した。

5 在宅福祉事業等への取り組み

1 共生社会に向けた生活支援の実施

家事・子育てに対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を対象とした「子育て世帯訪問支援事業」として、ヘルパーの派遣をおこなった。

2 制度事業への取り組み

登録ヘルパーの減少に伴い事業継続が厳しい現状の中、市内の安定したサービス提供の一助となるよう、障がい福祉サービス事業を市や関係機関と連携して実施した。

6 いきいきシニアセンター（藤沢市老人福祉センター）の運営

地域福祉推進の拠点としての役割を果たせるよう、各センターの地域特性やCS調査による利用者ニーズにあわせた運営を実施した。

また、障がい者団体等による弁当販売の実施、地域団体等と連携した子ども食堂の定期的な開催は今年度も継続し、さまざまな世代や地域住民との交流を図ることができた。

センターの利用状況	
やすらぎ荘	38,852人
湘南なぎさ荘	44,596人
こぶし荘	71,512人

（延べ利用者数）

一般利用者を対象とした継続的な健康維持増進の取り組み



やすらぎ荘 やすらぎ体操・カワセミ体操 | 湘南なぎさ荘 「からだいきいきプログラム」 | こぶし荘 「ごぼう先生体操」

7 災害対応に向けた取り組みの推進

2月20日（木）、三者協定に基づき災害ボランティアセンターの開設訓練を実施。センターの設置予定場所となる市役所分庁舎1階フロア及び分庁舎前広場にて、テント設営スペースの有無や市内外から訪れる支援ボランティアの受付や集合場所等について拠点確認をおこなった。

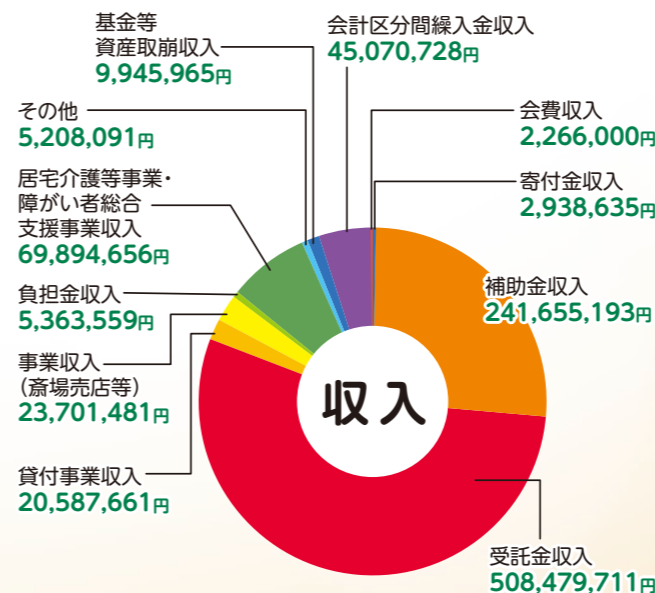
また、1月に発生した能登半島地震では、社協間支援協定に基づく応援要請に対し、石川県の七尾市及び能登町の社協が運営するセンターに計3人の職員を派遣した。



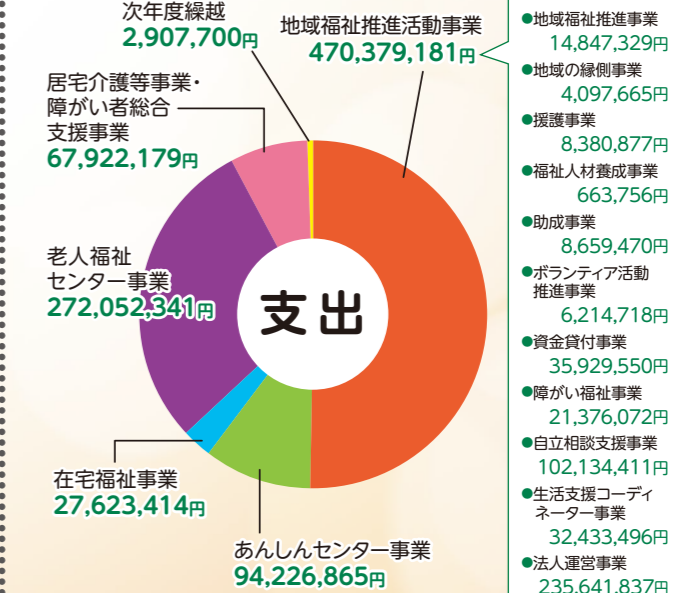
能登町災害ボランティアセンターにおけるオリエンテーションボランティア受付の様子

令和6年度 決算報告

収入合計 935,111,680円



支出合計 935,111,680円



老人福祉センターのイベント

参加
無料

こぶし荘

やすらぎ荘

湘南なぎさ荘

健康測定会

時間 9時30分～12時30分

小桜舞子歌謡ショー

時間 13時50分～14時50分

10月16日(木)

交通安全教室

～鈴々舎美馬による交通安全落語～

12月21日(日)

クリスマスのつどい

～ハンドベル・福島ミサト ジャズコンサート～

〒252-0807 藤沢市下土棚 800-1

電話:45-3121 FAX:45-3126



9月15日(月・祝) 敬老の日のつどい

増田いずみオペラコンサート &カラオケ大会

時間 10時45分～14時

3センター
共通

9月15日(月・祝)は「敬老の日
浴室無料サービスデー」として
浴室の利用が無料になります。

10月4日(土)・5日(日)

第50回やすらぎ祭

時間 9時30分～14時30分

〒251-0862 藤沢市稲荷 586

電話:81-6068 FAX:83-4624



小桜舞子歌謡ショー

時間 10時30分～11時30分

なぎさ演芸会

時間 13時30分～15時

11月15日(土)・16日(日)

湘南なぎさ祭

時間 9時30分～15時30分

12月14日(日)

クリスマスハンドベルコンサート

時間 11時～11時50分

〒251-0037 藤沢市鵜沼沿岸 6-17-7

電話:36-2315 FAX:36-1171



共同募金運動

共同募金は“じぶんの町を良くするしくみ”

今年も10月1日から“赤い羽根共同募金運動”がはじまります。

今年で79回目となる共同募金運動は、引き続き「つながりをたやさない社会づくり」を全国共通テーマに掲げて、“神奈川県内の地域福祉の推進”とともに社会的課題に対する“緊急支援事業”、国内大規模災害時の“被災者支援事業”にも積極的に取り組んでまいります。今年もご協力よろしくお願いします。

共同募金会

“赤い羽根共同募金”は共同募金の愛称です。



<http://www.fujisawa-shakyo.jp/shakyo/kyodo-bokin.html>

募金の種類

- 戸別募金 ● 街頭募金 ● 法人募金
- 学校募金 ● 職域募金 ● イベント募金
- その他の募金

令和7年度の共同募金PR大使
ミナミコアリクイのムムちゃんです!



年末たすけあい募金

12月1日から始まる歳末たすけあい募金には、「地域歳末たすけあい」と「NHK歳末たすけあい」の2種類があります。神奈川県内では“年末たすけあい募金”と称され実施されています。募金は、援護事業のほか、地域福祉サービス事業などにも使われます。赤い羽根募金とあわせてよろしくお願いします。

共同募金運動に協力することは、一人ひとりが、寄付を通じてまちを暮らすやすくするサポーターに加わることになります。“じぶんの町を良くするしくみ”に参加してみませんか。



いつもご支援いただきありがとうございます

令和7年 4月1日▶7月31日

あたたかいご寄付を ありがとうございました

社会福祉のために

- ① 戸大建設工業株式会社
- ② キラキラ同窓会 ③ 社会福祉法人ひばり
- ④ 神奈川土建一般労働組合 湘南支部
- ⑤ 小菅 孝

児童養護施設等の子どもたちの
普通自動車免許取得のために ⑥ 匿名 1名

寄託品

- ⑦ ウェスタンデジタルジャパン…玩具、栄養補助食品 他
- ⑧ 匿名…大人用おむつ 他 (順不同・敬称略)

令和7年 4月1日▶7月31日

賛助会員の紹介

明月 忠純
安西 伸一
亀谷 みゆき
指旗 博
新堀 由男
菅原 智栄子
平澤 孝
普川 進武
藤沢湘南台病院
神奈川聴覚障害者
総合福祉協会

東幸
藤沢市遺族会
トータルリスタートサービス協会
日本精工 福祉基金
増井行政書士事務所
養護老人ホーム湘風園
樹ケアサポート
移動サービスW.Co
らら・むーぶ藤沢
片瀬地区福祉ボランティア・
しおさい

シニアライフセラピー研究所
福祉クラブ生協オプティ茜
藤沢家事介護W.Coえんじょい
藤沢子育て支援W.Co
ほっと・すぱーす
藤沢市市民後見人 ふたば会
藤沢食事サービスW.Co
クックふじさわ
藤沢生活支援W.Coひなた
フリードケアサービス
laule'a (順不同・敬称略)

市社協 賛助会員 募集中

申込
方法

本協議会でお申込みいただくか、挟み込みのゆうちょ銀行「払込取扱票」をご利用ください。

受付
窓口

平日
土日祝

8:30～17:15 — 1階[総務課]

17:15～20:00

9:00～17:00 — 2階[ふじさわボランティアセンター]
(第3日曜を除く)

ゆうちょ銀行窓口での払込

払込手数料は本協議会が負担いたします。